

評価結果のめやす

教育目標 ふるさとを愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成

保護者・児童・職員

A とてもよくできた B だいたいできた C あまりできなかった D まったくできなかった

分掌部

4 目標達成90%以上 3 目標達成70~89% 2 目標達成50~69% 1 目標達成49%以下

| 項目 | 評価指標 | 方策等 | 評価結果 | | | | 自己 評定 | 学校 運営委員 評定 | 結果の考察・分析・改善策 |
|--------|---------------------|--|----------------|-----|------|---|----------|------------------|--|
| | | | 保護者 | 児童 | 職員 | 分掌部 | | | |
| | | | A+B (肯定的回答の割合) | | | 数値目標等 | | | |
| 知 育 | 授業改善を通じた学力向上 | <ul style="list-style-type: none"> 児童主体の授業を行い、思考力、判断力、表現力を養う。 習熟を図る時間を確保する。 読み、書き、計算等の基礎学力を定着させる。 | 88% | 80% | 92% | ワークテスト8割 年間読書量 上学年70冊以上 下学年80冊以上 読み聞かせ実施 | 3 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> 国語科を中心に、主体的で共同的な学び合いを目指した授業を全職員で実践し、研究授業を中心に学び合いを活発にするための指導法について検証することができた。課題をもとに、児童の主体的な学びに向けて今後も挑戦していきたい。 図書室で借りた本の冊数は、すでに12月1日時点で昨年度を越えることができた。今後も更に進んで読書に親しむよう推進していきたい。 単元終了後に行うワークテストは、どの学年も平均点数が8割を越えている。臨時休業によって授業日が減ったが、未履修なく、学力をしっかりつけるよう努力する。 ベル着・黙想に関して全職員で更に徹底していきたい。 「家庭学習の手引き」を分掌部に位置づけ、活用の促進を図っていきたい。 |
| | 学習習慣・態度の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 学力向上の基本である「基本的生活習慣」「基本的学習習慣」の定着に向け、「山田ブロック9年教育」の徹底を図る。 | 84% | 85% | 76% | 児童・保護者・職員アンケート 学習がんばり週間 90%以上 家庭学習 90%以上 | 3 | | |
| | 個に応じた指導の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 指導方法の工夫改善に努めるとともに、個別の指導計画を累積し、指導の充実を図る。 | | | 88% | 個別の指導計画作成 支援教育に関する研修会実施 | 3 | | |
| | 家庭学習の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の手引きを活用し、保護者と連携しながら学習習慣を身に付けさせる。 | 70% | 87% | 63% | 家庭学習評価 90%以上 | 3 | | |
| 徳 育 | 基本的生活習慣の定着 | <ul style="list-style-type: none"> 「中小よい子のきまり」を徹底させる。 常に、「挨拶、安全、後始末、ありがとう」(4つの「あ」)を心掛けて生活させる。 | 86% | 77% | 50% | 児童・保護者・職員アンケート 挨拶 90%以上 廊下歩行 85%以上 避難訓練の実施 | 3.3 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> 児童のあいさつがこれまで以上に良くなってきている。このことは、アンケート結果にもでている。 正しい廊下・階段歩行や教室移動や無言清掃等について、今後も全職員で指導にあたっていきたい。 朝のボランティアへの積極的な参加が見られる。 いじめ・不登校に関して組織的に対応することができた。今後も全児童が楽しく学校へ行けるよう、全職員で見守ってきたい。 |
| | 体験活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 道徳の時間を充実させ、実践力を育成する。 異年齢集団による活動の充実を図る。 | | | | 道徳参観日実施 | 4 | | |
| | 人権教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> いじめ撲滅を目指すとともに、自尊感情を育て、自他の人権を尊重する態度を育成する。 | 94% | 88% | 100% | 児童・保護者・職員アンケート 児童理解・相談等 82%以上 | 3.5 | | |
| | 環境教育の推進 | <ul style="list-style-type: none"> 清掃指導を中心に、無言清掃の徹底を図るとともに、環境美化活動の充実を図る。 | | 80% | 76% | 児童・職員アンケート 無言清掃90%以上 児童の様子 | 3.3 | | |
| 体 育 | 健康で安全な生活習慣の育成 | <ul style="list-style-type: none"> 運動、栄養、休養に気をつけ、明るく元気に生活させる。 安全(生活、交通、災害)についての「知識」と「知恵」を身に付けさせる。 適切なメディアコントロールを行わせ、健康に生活させる。 | 78% | 84% | 100% | 無欠席の日 20日以上 むし歯治療率 70%以上 | 4 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> 令和3年1月現在で、無欠席の日(事故欠を含む)は、27日であった。 インターネットやオンラインゲームなどのメディアに関する困り感を抱えている保護者が増加している。 目標であったむし歯治療率70%を12月までに超えることができた。 新型コロナウイルス感染防止に向けた取組を継続的に進め、消毒・換気・マスク着用等徹底できた。 制限ある状況の中で、運動会・持久走大会を実施することができた。 立腰指導を今後も継続していく必要がある。立腰に関してどこまで目指すかも一度確認する必要がある。 学年差はあるが、少しでも残食を減るよう働きかけていきたい。 |
| | 基礎体力の増進 | <ul style="list-style-type: none"> 教科体育の指導を充実させ体を動かすことが好きな子どもを育成する。 体育的行事の充実を図る。 | | 82% | | 児童の様子(外遊び) 持久走・なわとび旬間の設置 | 3 | | |
| | 食に関する指導の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 給食指導の充実を図るとともに、「弁当の日」の実践を通して、家庭との連携を図る。 | | 85% | 76% | 児童・職員アンケート 90%以上 「弁当の日」の実施 | 3 | | |
| | 集団作りの指導 | <ul style="list-style-type: none"> 立腰指導を含め、集団行動様式の指導を実践し、集団のルール・マナーを体得させる。 | | 75% | | 授業での時間確保 | 3 | | |
| ふくむ教育 | 地域素材や人材を生かした教育活動の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 地域素材や人材を生かした教育活動を充実させる。 | | | 38% | 職員アンケート結果 | 2 | 3 | <ul style="list-style-type: none"> 学習支援ボランティアの方々のおかげで、学習内容をとてスムーズに進めることができた。(5回実施 計26名) 新型コロナウイルスの影響で、実施できない行事等も多かったが、その様な中で精一杯の支援をしていただいた。 今後も学校がめざすところをより明確にしていきたい。 |
| | 学校評価を生かした教育活動の実践・評価 | <ul style="list-style-type: none"> 学校からの情報提供を積極的に行う。 PDCAサイクルを機能させる。 | 94% | | | アンケート結果 運営委員評価 | 3 | | |

自己評定と学校関係者評定のめやす

4: 目標値を大きく上回る

3: 目標値を上回る

2: 目標値をやや下回る

1: 目標値を大きく下回る

